

TAD アート・レクチャー



「TAD アート・レクチャー」は、富山県美術館について、アーティスト、研究者など、さまざまな角度で作品の魅力に迫る機会を提供していきます。今まで知らなかった意外な事実や作品の見どころが深まる機会です。

演題:「瀧口修造没後 40 年—書斎のシュルレアリスム」

○日時:2019年7月20日(土) 午後2時～(約90分)

○講師:^い巖谷^く 國士 氏 (フランス文学者、美術評論家)

講師略歴:1943年東京生まれ。東京大学文学部卒、同大学院修了。明治学院大学名誉教授。学生時代に瀧口修造や澁澤龍彦と出会ったところから、シュルレアリスムの研究と実践をつづける。フランス文学や現代美術、メルヘン、旅、ユートピア、庭園などを専門とし、文学・美術・映画批評家、エッセイスト、紀行作家、旅行写真家、絵本作家、美術展監修者としても活動。主な美術関係の著作に『シュルレアリスムとは何か』、『〈遊ぶ〉シュルレアリスム』、『封印された星 瀧口修造と日本のアーティストたち』、『森と芸術』、『旅と芸術』、『澁澤龍彦論コレクション』(全5巻)ほか多数。定評ある名訳として、アンドレ・ブルトン著『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』、『ナジャ』、『シュルレアリスムと絵画』、マックス・エルンスト著『百頭女』などもある。



瀧口修造(1903-79)の没後40年。講師の巖谷氏は、瀧口と長い交友があり、その超現実的な「書斎」にも、しばしば招かれていました。富山出身のこの詩人・美術評論家についての著作も多い巖谷國士氏に、瀧口修造の人と作品、書斎のありさま、交友したアーティストたちのことなど、さまざまなお話をうかがえる貴重な機会です。

○会場:富山県美術館・3階ホール(定員100名/開場午後1時30分)

聴講無料・事前申し込み不要(座席は先着順)

コレクション展・企画展の展示室に入室の場合は、観覧券が必要です。

ホール、図書コーナーでは、飲食、録音・撮影などはできませんのでご了承ください。

○当日ご講演の後に、巖谷先生の著作本へのサイン会を開催予定。詳細は当日ご案内します。

富山県美術館

〒930-0806 富山県富山市木場町3-20 tel.076-431-2711 fax.076-431-2712

Toyama Prefectural Museum of Art and Design 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan tel. +81-76-431-2711